

学校名

狭山市立富士見小学校

本校児童会生徒会は、「さやまっ子の誓い」を

承認します

承認しません。

## 本校のいじめ防止に関する実践

### 1 児童会めあて

富士見小学校では、毎年新しい学年が始まると、「どんな学校にしていきたいか」について4年生以上のクラスで話し合い、代表委員会が中心となって、「児童会めあて」を決めています。今年度のめあては、「七色の 富士見の笑顔を 伝説に」です。「七色」という言葉には、「富士見小学校1～6学年となかよし学級の友達みんな」という意味が込められています。今年度、富士見小学校は開校50周年を迎えました。いろいろな友達がいる富士見小学校全員が、笑顔いっぱいの1年間を過ごせるように、そして50年間続いてきた富士見小学校の歴史が、これからもずっと続いていくようにという思いで決めためあてです。このめあては、1階の昇降口に掲示してあり、登校する時や校庭へ出るとき、下校する時などに、いつも目に触れるようになっています。

### 2 レインボー班活動（縦割り活動）

富士見小学校では、縦割り班を「レインボー班」と呼んでいます。レインボー班で遊ぶ朝の時間のこと「レインボータイム」と呼んでいます。月に2回、隔週金曜日が「レインボータイム」となっています。6年生がリーダーとなり、低学年も楽しめるような遊びを考え、工夫しながら計画しています。

また、レインボー班で行う大きな行事に、11月に行っている「ふじみっ子まつり」があります。レインボー班で1つのお店を作り上げ、お店とお客の役割を交替しながら遊んで楽しむ行事です。「どんなお店にしたら、みんなが仲よく楽しめるか」をテーマに、高学年が中心になって取り組みます。お店作りを通して、班の仲間と触れ合う機会が増え、さらに仲が深まっていきます。今年度のスローガンは、「富士見っ子 笑顔が満開 世界一」でした。コロナ禍で、今まで通りにできないこともありますが、全校で行事ができることに感謝し、笑顔が満開になるような世界一のまつりにしよう、という思いを込めました。当日、お店とお客の役割交代の時には、全員で「エピカニクス」の音楽に合わせてダンスを踊りました。この全校行事で、学年に関係なく協力し、みんなで一緒に楽しむ経験ができ、よい思い出になりました。その後のレインボータイムでは、さらに仲よく遊ぶことができるようになりました。



### 3 なかよしキャンペーン

富士見小学校では、友達を大切に、差別のない学校をつくるために、年に2回「なかよしキャンペーン」を行っています。1学期は、各クラスで話し合い、「ふわふわ言葉をたくさん使おう」「誰にでも声をかけ、さそい合って一緒に遊ぼう」など、めあてを決めてカードに記入しました。決まっためあては、渡り廊下に掲示し、学校全体で行こうという意識を高めました。2学期は、各委員会が工夫をこらし、他の学年の友達と関わり合えるような企画を考えました。今年度は、運動委員会による「とび箱・マット教室」や図書委員会による「読み聞かせ」、放送委員会による「友達紹介」などが行われました。代表委員会では、「あいさつ運動」と「〇×クイズ大会」、「エビカニタイム」を行いました。「あいさつ運動」では、代表委員が登校時に昇降口に立ち、富士見小学校のみんなが1日を気持ちよくスタートできるように、明るいあいさつをしました。休み時間に計画した自由参加の「〇×クイズ大会」や「エビカニタイム」には、低学年を中心にたくさんのふじみっ子が参加してくれました。



このように、富士見小学校では、全校で仲よくできるような取り組みを行っています。普段から、仲よく楽しく学校生活を送ることが、お互いを大切に、いじめを防ぐことにつながると考えています。これからも、相手の立場に立って考えることや、困っている友達がいたらすぐに手助けすることを忘れずに、このような取り組みを続け、「いじめや差別をしない、させない、許さない」学校づくりをしていきたいと思ひます。